

れい わ ねん ど ぶん か げいじゅつ こどもいくせいそうごうじぎょう
令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業

じゅん かい こう えん じ ぎょう
— 巡回公演事業 —

こう えん
オーケストラ公演

おお さか こうきょう がく だん
大阪フィルハーモニー交響楽団



©飯島隆

ぶん か げいじゅつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

わ くに いちりゅう ぶん か げいじゅつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すぐ ぶたいげいじゅつ かんしょう き かい
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を
え こども ほっそうりよく のうりよく いくせい しょうらい げいじゅつ か いくせい こくみん げいじゅつかんしょうのうりよく
得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の
こうじょう もくてき
向上につなげることを目的としています。



プログラム

ワーグナー／歌劇「ローエングリン」より 第3幕への前奏曲

弦楽器紹介

チャイコフスキー／「弦楽セレナード」より ワルツ

管打楽器紹介

指揮者体験コーナー

貴志康一／大管弦楽のための「日本組曲」より 道頓堀

ボディ・パーカッションで共演！

ベートーヴェン／交響曲 第5番 ハ短調 作品67「運命」より 第1楽章

※学校により一部内容が異なる場合がございます。

曲目について

ワーグナー／歌劇「ローエングリン」より 第3幕への前奏曲

ドイツの作曲家ワーグナーは歌劇「ローエングリン」をはじめ、数々のオペラを作曲しました。オープニングにふさわしい華やかで輝かしい旋律が印象的な作品です。

チャイコフスキー／「弦楽セレナード」より ワルツ

弦楽合奏曲の中でも最も有名な「弦楽セレナード」。気品のあるおしゃれなワルツを、弦楽器だけで奏でられる温かな響きでお楽しみください。

貴志康一／大管弦楽のための「日本組曲」より 道頓堀

貴志康一は大阪出身の作曲家で、指揮者やヴァイオリニストとしても活躍していました。大阪を代表する繁華街「道頓堀」の名がついたこの曲は、大阪の街並みや賑わいを音で表現したユーモアのある作品です。

ベートーヴェン／交響曲 第5番 ハ短調 作品67「運命」より 第1楽章

2020年に生誕250年を迎える作曲家ベートーヴェンの代表作「運命」。「ジャジャジャジャー」という誰もが知っているメロディーが、楽章間を通して絶えず展開していきます。フル・オーケストラのダイナミックな演奏と圧倒的なサウンド感を最後までご堪能ください。

〈オーケストラと指揮者〉

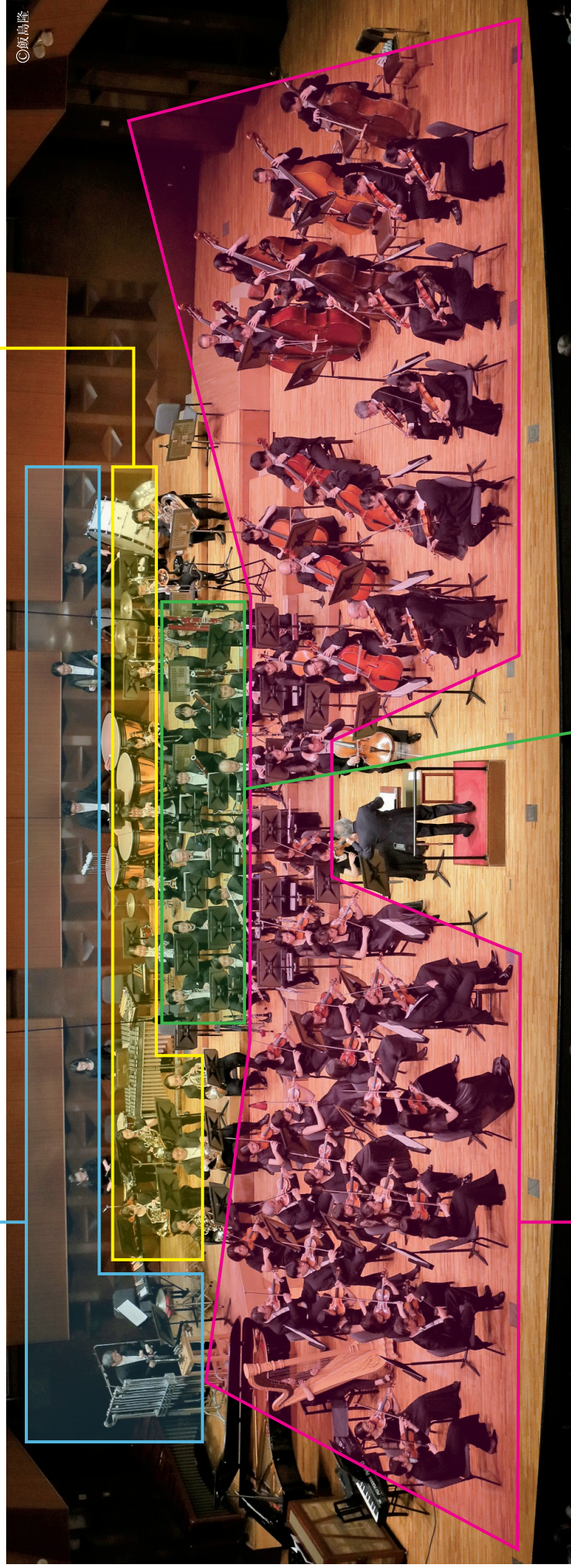
オーケストラには、高い音や低い音、激しい音や柔らかな音など、いろいろな種類の音を出す楽器があり、弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の4種類から構成されています。

作曲家は、そうしたさまざまな音の楽器を組み合わせて、色とりどりの絵の具やクレヨンで絵を描くように、音楽を作っていきます。

そして指揮者は、楽譜に書かれた音符を研究して、作曲家がその音で表現しようとした気持ちを聴く人に伝えるために、オーケストラから音を引き出すのです。

だ がっ き 打楽器

ぎん かん がっ き 金管楽器



げん がっ き 弦楽器

もっ かん がっ き 木管楽器

〈オーケストラの楽器〉

弦楽器（げんがっき）



ヴァイオリン(左)

楽器に張られている4本の弦を弓でこすって演奏します。演奏するときには弓に松やにを塗ります。

ヴィオラ(右)

ヴァイオリンとそっくりですが、少し大きめです。音も少し低く、やわらかい響きがします。



チェロ

ヴァイオリンやヴィオラと違い、立てて演奏します。楽器がすべらないようにエンドピンで支えています。

コントラバス

おとなの身長よりも大きな楽器です。ずっしりと迫力のある音がします。



ハープ

見た目も音色も優雅な楽器です。弦を指ではじいて音を出します。



木管楽器（もっかんがっき）



フルート(上)・ピッコロ(下)

フルートは、昔は木で作られていました。今はシルバーなど金属製が多く、見た目も華やかです。ピッコロはフルートの半分ほどの大きさで、音域が高くなります。



オーボエ

演奏会のはじめの音あわせはオーボエの音から始まります。リードという薄い板2枚を楽器につけて演奏します。

クラリネット

オーボエと同じリードを使いますが、こちらは1枚だけです。音域が広く、表現豊かな楽器です。



ファゴット

赤っぽい色の大きな楽器です。のどかな音から悲しい音までさまざまな場面で活躍します。



金管楽器（きんかんがっき）



ホルン

動物のツノでつくった角
笛がルーツです。丸い
見た目の通り、やわら
かい音がします。



トランペット

明るく輝かしい音色の
トランペットはブラスバンド
などでも大活躍です。

トロンボーン

伸びたり縮んだりしながら音
を鳴らすトロンボーン。500年
以上前に生まれた歴史ある
楽器です。



チューバ

金管楽器最大の楽器です。
低くゆたかな音でオーケストラ
をつつみこみます。



打楽器（だがっき）



ティンパニ

いくつかの大きさの異なる太鼓を組み合わせています。客席
からは見えませんが、足元のペダルで巧みに音程を変えな
がら演奏しています。

パーカッション

トライアングルやシンバルなどおなじみのものから珍しいものまで、数え切れないほどの種類があり、音楽に彩りをそえます。



シロフォン



グロッケン



シンバル



スネアドラム



バスドラム



銅鑼
とら



タンブリン・トライアングル・カステネット

実施日程	実施校名	実施日程	実施校名
9月29日(火)	香取市立小見川西小学校	10月9日(金)	鎌ヶ谷市立北部小学校
9月30日(水)	神栖市立波崎第二中学校	11月17日(火)	東大和市立第九小学校
10月5日(月)	千代田区立富士見小学校	11月18日(水)	大月市立大月東中学校
10月6日(火)	鉾田市立鉾田北小学校	12月2日(水)	流山市立南部中学校
10月7日(水)	阿見町立阿見第二小学校	12月3日(木)	足立区立足立入谷小学校
10月8日(木)	八千代市立米本小学校	12月16日(水)	上野原市立上野原中学校

指揮／角田 鋼亮 ※9月・10月・12月2,3日開催公演担当

愛知県生まれ。東海学園中学高等学校にてオーケストラと出会いました。その後、東京芸術大学と大学院にて指揮を勉強しました。卒業後はドイツのベルリン音楽大学でも学びました。大学卒業後はコンクールにも挑戦し、2008年第4回カラヤン生誕100周年記念コンクールでは2位に輝きます。これまでにドイツや中国などのオーケストラを指揮するほか、日本各地のオーケストラと共演を重ねています。現在は大阪フィルハーモニー交響楽団と仙台フィルハーモニー管弦楽団の指揮者を、セントラル愛知交響楽団では常任指揮者をつとめ、3つのオーケストラを中心に活動を展開しています。

指揮／中井 章徳 ※11月・12月16日開催公演担当

岡山県倉敷市生まれ。ジュニアオーケストラでヴィオラとトロンボーンを演奏し、桐朋オーケストラ・アカデミー、キジアーナ音楽院(イタリア)、くらしき作陽大学大学院音楽研究科で指揮を学び、1998年、ポーランドで開催された第21回マスタープレイヤーズ国際音楽コンクールで指揮部門最高位の名誉ディプロマ賞とマスタープレイヤーズ大賞を同時受賞しました。これまでに札幌響、日本フィル、名古屋フィル、京都フィル、大阪フィル、日本センチュリー響、関西フィル、大阪響、岡山フィル、広島響、九州響などを指揮しています。現在は出雲芸術アカデミーの芸術監督をつとめながら、京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士課程でイタリアオペラを中心に指揮の研究に取り組んでいます。

オーケストラ／大阪フィルハーモニー交響楽団

1947年春に、指揮者朝比奈隆を中心として大阪に誕生しました。現在、尾高忠明音楽監督のもと、年10回の定期演奏会を大阪の中心地・中之島のフェスティバルホールにて開催。それ以外にも、全国各地でさまざまなコンサートを、年間100回以上、行っています。また、CDもたくさん発売しています。

<https://www.osaka-phil.com/>

知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業

— 巡回公演事業 —

オーケストラ公演

大阪フィルハーモニー交響楽団



©飯島隆

「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。



プログラム

ワーグナー／歌劇「ローエングリン」より 第3幕への前奏曲

弦楽器紹介

チャイコフスキー／「弦楽セレナード」より ワルツ

管打楽器紹介

オーケストラ分解演奏

スメタナ／交響詩「モルダウ」より

指揮者体験コーナー

貴志康一／大管弦楽のための「日本組曲」より 道頓堀

ベートーヴェン／交響曲 第5番 ハ短調 作品67「運命」より 第1楽章

※学校により一部内容が異なる場合がございます。

曲目について

ワーグナー／歌劇「ローエングリン」より 第3幕への前奏曲

ドイツの作曲家ワーグナーは歌劇「ローエングリン」をはじめ、数々のオペラを作曲しました。オープニングにふさわしい華やかで輝かしい旋律が印象的な作品です。

チャイコフスキー／「弦楽セレナード」より ワルツ

弦楽合奏曲の中でも最も有名な「弦楽セレナード」。気品のあるおしゃれなワルツを、弦楽器だけで奏でられる温かな響きでお楽しみください。

スメタナ／交響詩「モルダウ」より

この作品はチェコの作曲家スメタナが、全6曲からなる連作交響詩「わが祖国」の第2曲として作曲したものです。チェコ国内最長の河川モルダウが流れていく様子を描写した美しい旋律を、各楽器の役割の解説を交えながら演奏いたします。

貴志康一／大管弦楽のための「日本組曲」より 道頓堀

貴志康一は大阪出身の作曲家で、指揮者やヴァイオリニストとしても活躍していました。大阪を代表する繁華街「道頓堀」の名がついたこの曲は、大阪の街並みや賑わいを音で表現したユーモアのある作品です。

ベートーヴェン／交響曲 第5番 ハ短調 作品67「運命」より 第1楽章

2020年に生誕250年を迎える作曲家ベートーヴェンの代表作「運命」。「ジャジャジャジャー」という誰もが知っているメロディーが、楽章間を通して絶えず展開していきます。フル・オーケストラのダイナミックな演奏と圧倒的なサウンド感を最後までご堪能ください。

〈オーケストラと指揮者〉

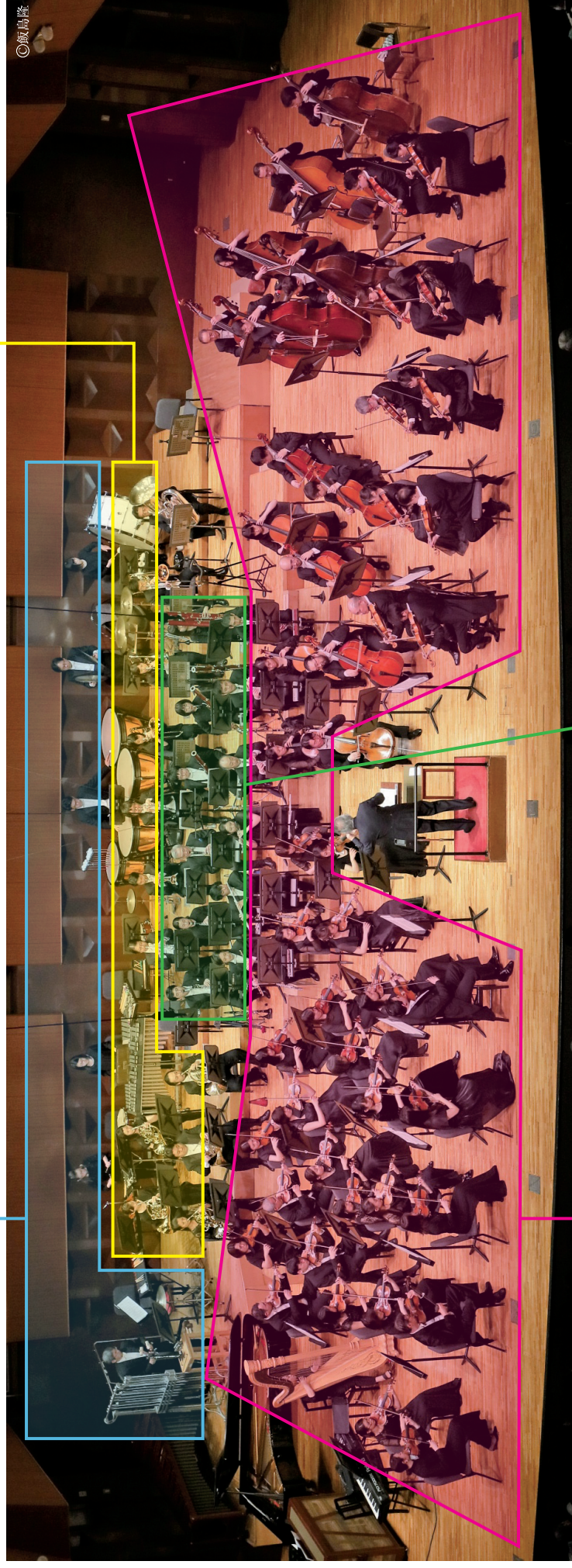
オーケストラには、高い音や低い音、激しい音や柔らかな音など、いろいろな種類の音を出す楽器があり、弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の4種類から構成されています。

作曲家は、そうしたさまざまな音の楽器を組み合わせ、色とりどりの絵の具やクレヨンで絵を描くように、音楽を作っていきます。

そして指揮者は、楽譜に書かれた音符を研究して、作曲家がその音で表現しようとした気持ちを聴く人に伝えるために、オーケストラから音を引き出すのです。

打楽器

金管楽器



弦楽器

木管楽器

〈オーケストラの楽器〉

弦楽器



ヴァイオリン(左)

楽器に張られている4本の弦を弓でこすって演奏します。演奏するときには弓に松やにを塗ります。

ヴィオラ(右)

ヴァイオリンとそっくりですが、少し大きめです。音も少し低く、やわらかい響きがします。



チェロ

ヴァイオリンやヴィオラと違い、立てて演奏します。楽器がすべらないようにエンドピンで支えています。

コントラバス

おとなの身長よりも大きな楽器です。ずっしりと迫力のある音がします。



ハープ

見た目も音色も優雅な楽器です。弦を指ではじいて音を出します。



木管楽器



フルート(上)・ピッコロ(下)

フルートは、昔は木で作られていました。今はシルバーなど金属製が多く、見た目も華やかです。ピッコロはフルートの半分ほどの大きさで、音域が高くなります。



オーボエ

演奏会のはじめの音あわせはオーボエの音から始まります。リードという薄い板2枚を楽器につけて演奏します。

クラリネット

オーボエと同じリードを使いますが、こちらは1枚だけです。音域が広く、表現豊かな楽器です。



ファゴット

赤っぽい色の大きな楽器です。のどかな音から悲しい音までさまざまな場面で活躍します。



金管楽器



ホルン

動物のツノでつくった角笛がルーツです。丸い見た目の通り、やわらかい音がします。



トランペット

明るく輝かしい音色のトランペットはブラスバンドなどでも大活躍です。

トロンボーン

伸びたり縮んだりしながら音を鳴らすトロンボーン。500年以上前に生まれた歴史ある楽器です。



チューバ

金管楽器最大の楽器です。低くゆたかな音でオーケストラをつつみこみます。



打楽器



ティンパニ

いくつかの大きさの異なる太鼓を組み合わせています。客席からは見えませんが、足元のペダルで巧みに音程を変えながら演奏しています。

パーカッション

トライアングルやシンバルなどおなじみのものから珍しいものまで、数え切れないほどの種類があり、音楽に彩りをそえます。



シロフォン



グロッケン



シンバル



スネアドラム



バスドラム



銅鑼



タンブリン・トライアングル・カステネット

実施日程	実施校名	実施日程	実施校名
9月29日(火)	香取市立小見川西小学校	10月9日(金)	鎌ヶ谷市立北部小学校
9月30日(水)	神栖市立波崎第二中学校	11月17日(火)	東大和市立第九小学校
10月5日(月)	千代田区立富士見小学校	11月18日(水)	大月市立大月東中学校
10月6日(火)	鉾田市立鉾田北小学校	12月2日(水)	流山市立南部中学校
10月7日(水)	阿見町立阿見第二小学校	12月3日(木)	足立区立足立入谷小学校
10月8日(木)	八千代市立米本小学校	12月16日(水)	上野原市立上野原中学校

指揮／^{つのだ こうすけ}角田 鋼亮 ※9月・10月・12月2,3日開催公演担当

愛知県生まれ。東海学園中学高等学校にてオーケストラと出会いました。その後、東京芸術大学と大学院にて指揮を勉強しました。卒業後はドイツのベルリン音楽大学でも学びました。大学卒業後はコンクールにも挑戦し、2008年第4回カラヤン生誕100周年記念コンクールでは2位に輝きます。これまでにドイツや中国などのオーケストラを指揮するほか、日本各地のオーケストラと共演を重ねています。現在は大阪フィルハーモニー交響楽団と仙台フィルハーモニー管弦楽団の指揮者を、セントラル愛知交響楽団では常任指揮者をつとめ、3つのオーケストラを中心に活動を展開しています。

指揮／^{なか い あきとく}中井 章徳 ※11月・12月16日開催公演担当

岡山県倉敷市生まれ。ジュニアオーケストラでヴィオラとトロンボーンを演奏し、桐朋オーケストラ・アカデミー、キジアーナ音楽院(イタリア)、くらしき作陽大学大学院音楽研究科で指揮を学び、1998年、ポーランドで開催された第21回マスタープレイヤーズ国際音楽コンクールで指揮部門最高位の名誉ディプロマ賞とマスタープレイヤーズ大賞を同時受賞しました。これまでに札幌響、日本フィル、名古屋フィル、京都フィル、大阪フィル、日本センチュリー響、関西フィル、大阪響、岡山フィル、広島響、九州響などを指揮しています。現在は出雲芸術アカデミーの芸術監督をつとめながら、京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士課程でイタリアオペラを中心に指揮の研究に取り組んでいます。

オーケストラ／大阪フィルハーモニー交響楽団

1947年春に、指揮者朝比奈隆を中心として大阪に誕生しました。現在、尾高忠明音楽監督のもと、年10回の定期演奏会を大阪の中心地・中之島のフェスティバルホールにて開催。それ以外にも、全国各地でさまざまなコンサートを、年間100回以上、行っています。また、CDもたくさん発売しています。

<https://www.osaka-phil.com/>

知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。